

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 51 週(2024/12/16~12/22) 感染症発生動向調査速報値 (2024/12/25 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数: **628** 人、定点医療機関当たり **13.36** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点(小児科28定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

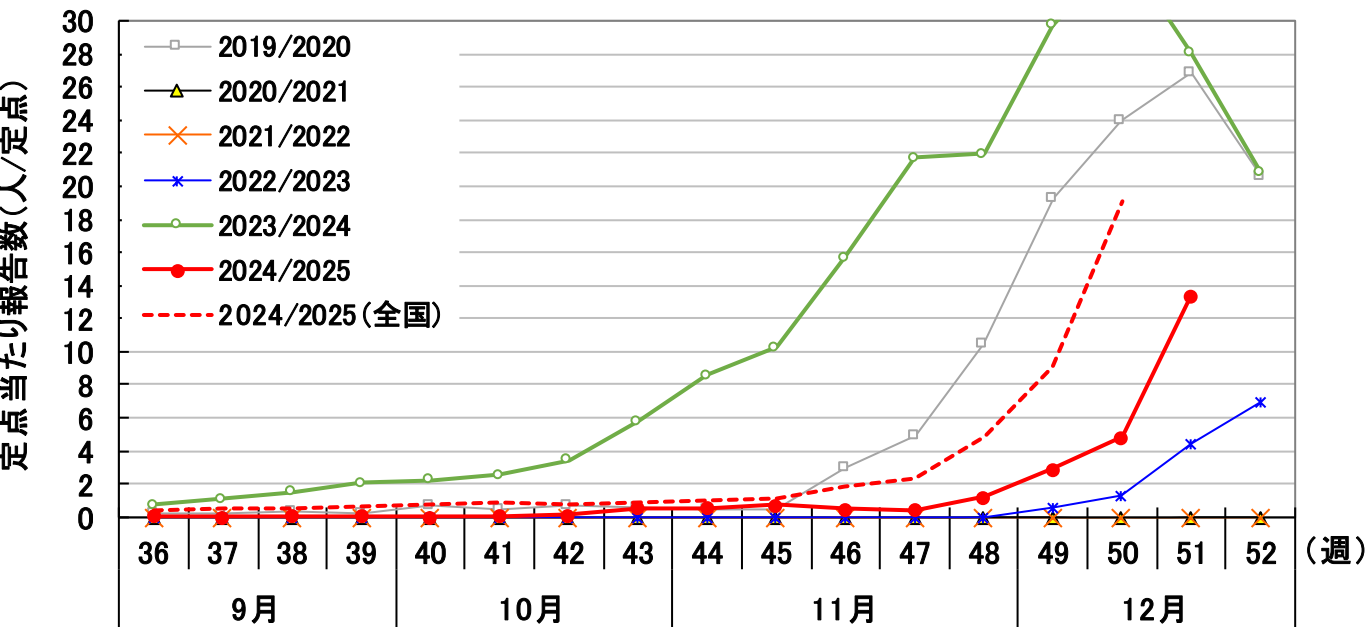
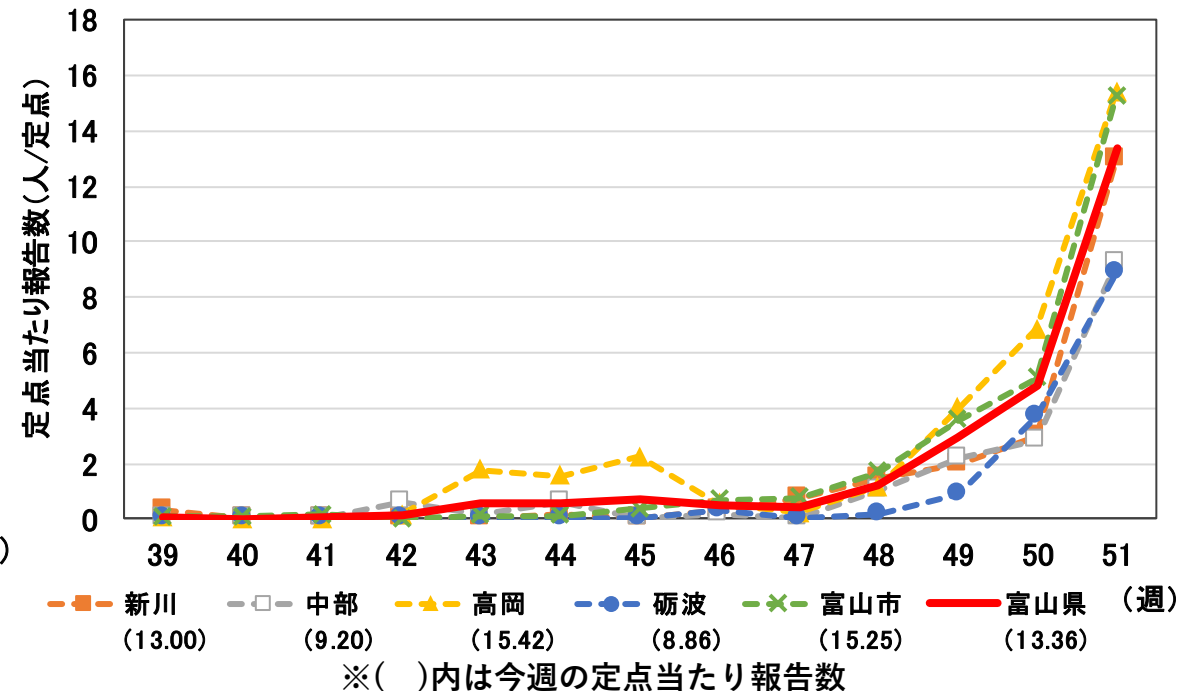
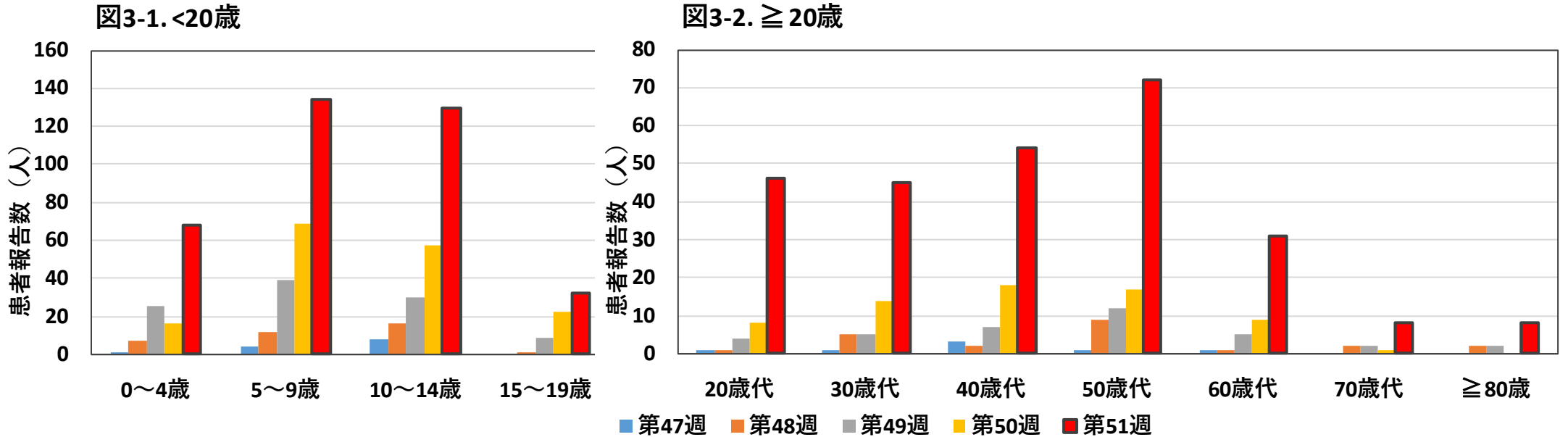


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数(図1)は今週13.36人/定点となり、先週(4.81人/定点)から大きく増加し、注意報レベルの基準である10人/定点を超えた。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると(図2)、全ての管内で先週から増加した。新川、高岡、富山市管内では、注意報レベルの基準である10人/定点を超えている。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 先週から15歳未満の小児、20歳～60歳代の成人で増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第50週)

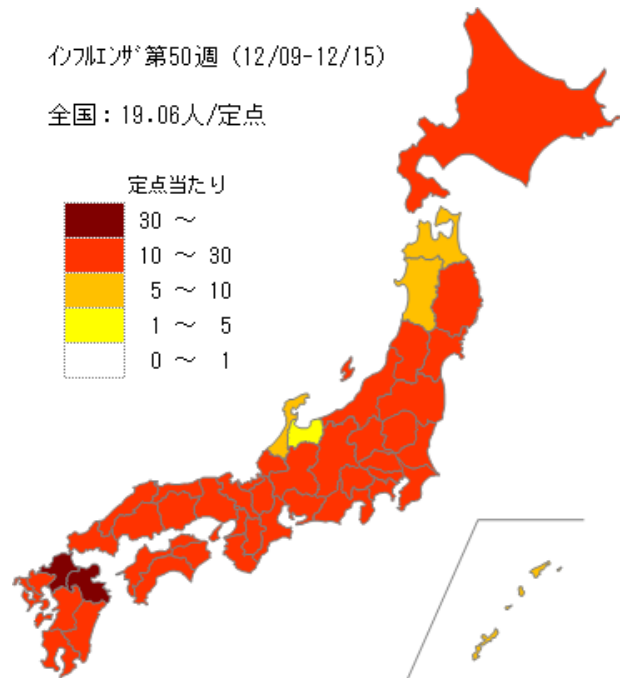
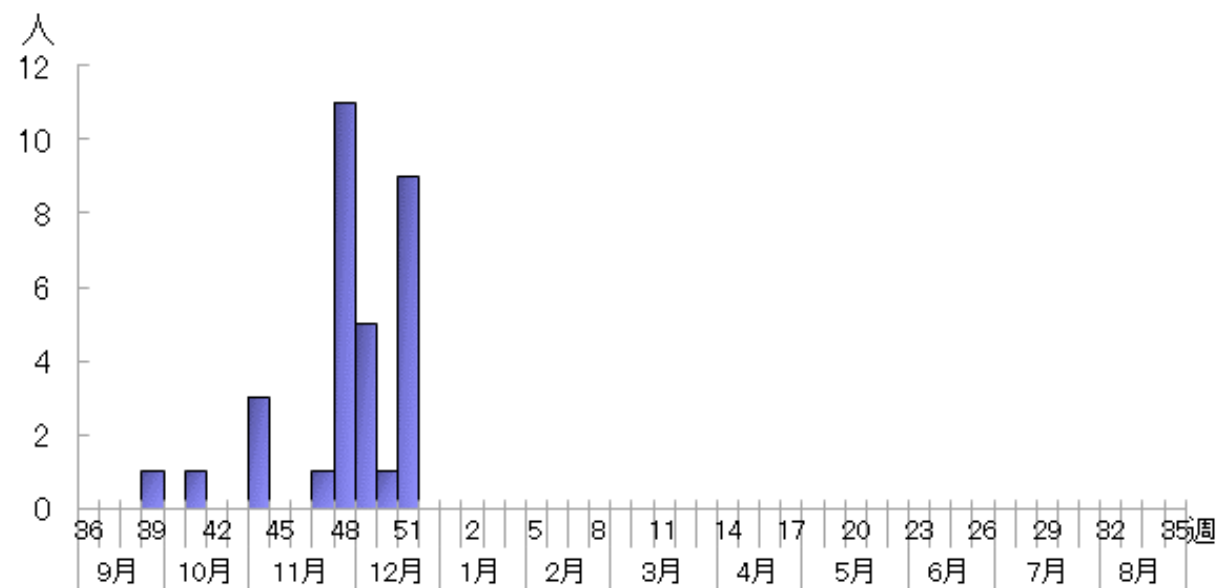


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第51週)



- 全国では第50週に19.06人/定点となり、第49週 (9.05) から増加した。都道府県別 (図4) では、42都道府県で注意報レベルの基準である10人/定点を超えており、その内2県で警報レベルの基準である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図5) では、今週9例 (5~9歳、20歳代、50歳代、60歳代: 各1例、70歳代: 3例、80歳以上: 2例) の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は先週から大きく増加した。また、第51週に学級及び学年閉鎖の報告が12件 (小学校7件、中学校4件、高等学校1件) あった ([富山県インフルエンザ関連情報](#))。年末年始にかけて今後の市中での感染拡大が懸念され、発生動向を注視する必要がある。